

◆◆「新しい川崎」メール版◆◆

—2024年2月20日・第112号—

<目次>

●川崎市は市民の声を聞け！～2.13 市民要求実現アクション～

■急ぎましょう、ぜん息患者医療費助成申請！

▲お知らせコーナー

☆2/20 映画「雪道」川崎実行委員会結成試写会

☆2/20 川崎市 2024 年度予算案を考える学習会

☆2/24 ゆめシネマ 30「ハマのドン」

☆2/24 川崎市民平和のつどい「はだしのゲン」講談・神田香織

☆2/25 川崎市議会座談会「予算の審議を前に」

☆2/27・28 川崎市議会代表質問

☆3/1 住まいについての学習会

☆3/10 原発ゼロへのカウントダウン in かわさき

☆3/23 映画「荒野に希望の灯をともし」上映

★編集後記

●川崎市は市民の声を聞け！～2.13 市民要求実現アクション～

いのちと暮らしを守る川崎市民連絡会は、川崎市議会開会日の2月13日の12時から12時50分まで、川崎市役所前にて「第1回・市民要求実現アクション」を行いました。

先週のメルマガ111号で報じたように、川崎市が今市議会に提案している2024年度川崎市予算案には、この1年近く、市民が請願や陳情で繰り返し求めてきた切実な市民要求がほとんど反映されていません。市民の声を聞かない、市民に冷たい予算案です。

それだけに、市民に選ばれた議員が、今市議会の予算審議を通して、川崎市政が切り捨てようとしている課題を取り上げ、審議を行うことで、要求実現の道筋が見えてくるのではないのでしょうか。

そんな思いをこめて、この日の12時前には、市民団体や個人が続々と参加し、横断幕やプラカードを手にした70名を超える市民のアクションが、強風下の市役所前広場で展開されました。

事前に、市議会全部の会派に、「市民の声を聞いてほしい！」との申し入れを行いました。その結

果、短い昼休みの時間をさいて、日本共産党川崎市議団が全員、参加をしてくれました。

<当日の市民からのアピールは次のようでした。>

- ・小中学校の給食費を無料に！（ゆきとどいた教育をすすめる川崎市民の会の水野栄子さん、）
- ・122名を超える教職員未配置（昨年12月時点）をなくせ！（川崎市教職員連絡会の大前博さん）
- ・一部負担金をなくし18歳まで医療費の無料化を！（新日本婦人の会の野末明美さん）
- ・中原区西加瀬の巨大物流倉庫建設をやめ、市民ミュージアムを！（巨大物流倉庫を考える住民の会の広瀬忠雄さん）
- ・リニア新幹線の大深度トンネル工事はストップ！（リニア新幹線を考える東京・神奈川連絡会の天野捷一さん）
- ・石油コンビナートの上を通る羽田新飛行ルートはストップ！（羽田増便による低空飛行ルートに反対する川崎区民の会の橘孝さん）

12時50分から、15名が4組に分かれて、議会各会派に、懇談の要請にいきました。
ところが、新市役所になって、市民が自由に、会派の控室に行けなくなっています。

この日も、まず、22階の議会局で、会派ごとに参加者氏名を書いて申し込み、議会局が各会派に電話をして、許可をもらうという手続きをします。

そして、要請者は23階に移動し、そこから会派に電話をして、やっと、控室に行くこととなります。

こんなことで手間取っているうちに、昼休みが終わり、市議会午後の部が始まり、結局、議員には会えずに、事務局の方に資料を渡し、後日、議員団長に懇談の申し入れを行うと伝えました。

市民と議会を隔てる、この「新たな壁」は、早急に改善しないといけないと痛感しました。

翌日の連絡で、現在まで、みらい、公明党、共産党との懇談が実現しました。その報告は続報していきます。

いのちと暮らしを守る川崎市民連絡会事務局(市古)

■ 急ぎましょう、ぜん息患者医療費助成申請！

川崎公害病患者と家族の会は、機関紙「あおぞら」などを通して、ぜん息医療費助成申請を急ぐように呼び掛けています。

呼びかけは以下です。

川崎市は、昨年の市議会で「成人ぜん息患者医療費助成条例」と「小児ぜん息患者医療費支給条例」の廃止を決めました。

これにより、2024年3月31日をもって、新規認定は打ち切られて、医療費の助成が受けられなくなります。しかし、これで全てが廃止になるわけではありません。

制度を申請し、医療証を発行されている方については、あと2年間(2025年度まで)医療費の助成が受けられるのです。

みなさんのまわりで、ぜん息でお困りの方がおられましたら、すぐに手続きを行うように話してください。

また、手続きの仕方については、公害病患者と家族の会の事務所に、お気軽にご相談ください。手続きに必要な書類などの書き方についてお手伝いをいたします。

患者会の連絡先は、

川崎南部事務所(044-211-0391)

川崎北部連絡先(044-244-7440)

今年は、川崎市政発足100年です。

川崎市の歴史の中で、大企業の利益優先が引きおこした川崎の深刻な大気汚染公害は、負の歴史と言えます。

同時に、川崎に「青い空と白い雲を」の合言葉で全市的に進められた川崎から公害をなくす市民運動と、伊藤三郎市長による革新市政は、川崎市政100年史が誇るべき立派な歴史です。

そして、ぜん息患者医療費助成の制度は、いのちと暮らしを守ろうと立ち上がった市民の力が生み出したものだと言えるでしょう。

昨年、ぜん息患者、多くの市民が、この条例廃止に対し、抗議の声をあげました。

新聞各紙も市政への批判的な記事を連日のように報道しました。

それにもかかわらず、川崎・福田市長は、市民の声を聞かずに廃止を強行しました。
市民に選ばれた多くの市議会議員が、廃止に賛成したことも忘れることはできません。

しかし、福田市政の強引な手法で廃止された制度は、また、新たに市民の合意を得ることで作り出すことはできるのです。

それが民主主義です。

2026年3月の医療費助成の打ち切りの前に行われる2025年10月の川崎市長選は、その絶好のチャンスとなるのではないのでしょうか。

川崎民主市政をつくる会 市古博一

▲お知らせコーナー

☆川崎市 2024 年度予算案を考える学習会

2/20(火)本日 18 時半より

川崎市総合自治会館大会議室

報告者 宗田裕之（日本共産党市議団長）

☆「雪道」試写会&「雪道」川崎上映実行委員会発会のつどい

2/20(火)本日 18 時より

かわさきゆめホール

入場無料

044-433-3003 まで

☆ゆめシネマ「ハマのドン」

2/24(土)①9 時 ② 11 時半 ③ 14 時

会場:かわさきゆめホール

一般:1000 円

障がい者:500 円

学生以下:200 円

無連絡:+500 円

申込み:044-433-3003 (かわさきゆめホール)

cinema@kawasakiyume.com

[詳細はこちら](#)

主催:ゆめホールシネマ倶楽部

☆川崎市民平和のつどい

「はだしのゲン」講談 講談師 神田香織さん

2月24日(土)1時開会 3時終了予定

川崎市総合会館(南武線武蔵小杉駅下車5分)

入場無料

申し込み 044-433-9100(川崎教職員会館)

☆川崎市議会座談会「予算の審議を前に」

2/25(日)20時～

テレビ神奈川

各会派から出演

☆川崎市議会代表質問 川崎市議会

2/27(火)

午前:自民党、午後:みらい

2/28(水)

午前:公明党、

午後:共産党、維新の会

☆住まいについての学習会

「国民・市民の住宅困窮と居住政策―川崎市の住宅施策について」

3/1(金)18:30

高津市民館 第6会議室

※ZOOM配信もあり、申し込み制

講師 坂庭国晴(国民の住まいを守る全国連絡会代表幹事)

主催 日本共産党川崎市議団

☆第13回原発ゼロへのカウントダウン in かわさき集会

3/10(日)

11 時開場

12 時文化行事

13 時集会

ゲスト:海渡雄一(脱原発弁護団共同代表)

鴨下美和(福島からの避難者)

14 時半 デモ出発(小杉駅まで)

☆2023 年度地球市民講座

映画「荒野に希望の灯をともし」上映

講演 中村医師を支えた看護師 藤田千代子さん

3 月 23 日(土)開演 12:50 国際交流センター

先着 200 名 参加費 1000 円

申し込み 044-4355-7000

主催 かわさき国際交流民間団体協議会 後援 川崎市

★編集後記

「雪道」の一場面、慰安所から逃げ出した二人の少女。

傷を負った少女は、もう一人の少女に「ここで起きたことは決して口にしてはいけない」と言います。

吉田清治氏は、自分の証言によって生き残った慰安婦たちとその家族が破滅することを恐れていました。

その為、本人が特定されないよう、時間と場所に創作を加えたと思われます。

吉田氏は濟州島での慰安婦狩りについてかなり踏み込んで証言していますが、濟州島では 4・3 事件という 3 万人もの島民が虐殺される事件が起き、残った島民も多くが島から逃げ出したため、「害は及ばないだろう」という判断が働いたものと思われます。

「しんぶん赤旗」は、吉田清治氏の「証言」に関する記事を取り下げてしまいましたが、「濟州島では 40 人に聞き取り調査をしたが殆ど知らなかった」などという歴史修正主義者の攻撃に惑わされて白旗を揚げた残念な出来事でした。

そもそも河野談話の内容は、吉田証言を裏付ける内容が含まれていました。そして金学順さんや、金 福童さんはじめ、その後次々に証言者が現れるにつれ、吉田証言は裏付けを持つようになってきました。

「雪道」は多くの証言に基づいて作られたフィクションです。少女が主人公と言うこともあり、性的

な描写はひとつもありません。

4月23日から27日まで、ゆめホールで開催の上映会を成功させたい。(Y)

☆☆チェンジかわさき！☆☆

川崎民主市政をつくる会

〒211-0011 中原区下沼部 1880

お問い合わせ

mailmag@newkawasaki.jp

公式ホームページ

<https://newkawasaki.jp>

☆☆チェンジかわさき！☆☆

配信を希望されない方は以下をクリックしてください。

自動的に登録を解除します。

https://my922p.com/User/cancel_mail/fMwwpqj4/ouSSOyc9TEmv?mail=talosxxx%40gmail.com

誤って登録解除した場合、以下までご連絡ください。

mailmag@newkawasaki.jp